

首都高速道路株式会社第 11 期（平成 28 年 3 月期）中間決算のポイント

（会計期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

1. 平成 28 年 3 月期中間期の連結業績

（単位：億円）

	H28/3 期 中間期 (A)	H27/3 期 中間期 (B)	対前年増減額・率	
			(A) - (B)	%
営業収益	1,397	1,482	△84	△5.7%
高速道路事業	1,320	1,356	△36	△2.7%
料金収入	1,279	1,261	18	1.4%
道路資産完成高	40	94	△53	△57.0%
その他	0	0	△0	△35.7%
関連事業	79	128	△48	△38.0%
駐車場事業	14	14	0	1.7%
受託事業	54	103	△49	△47.6%
その他の事業	10	9	0	4.9%
セグメント間取引消去	△2	△2	△0	-
営業費用	1,329	1,463	△134	△9.2%
高速道路事業	1,256	1,342	△85	△6.4%
(うち道路資産賃借料)	(920)	(952)	△31	△3.3%
関連事業	74	123	△48	△39.1%
駐車場事業	10	10	△0	△1.6%
受託事業	54	103	△48	△47.1%
その他の事業	9	8	0	9.1%
セグメント間取引消去	△2	△2	△0	-
営業利益	68	18	49	260.1%
高速道路事業	63	13	49	356.9%
関連事業	4	4	△0	△10.0%
経常利益	68	19	48	246.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	37	6	30	444.5%

※端数処理の関係で、計が合わないことがあります。

□営業収益については、高速道路事業において、平成 27 年 3 月に全線開通した中央環状線のネットワーク整備効果等により料金収入が増加したものの、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下「機構」といいます。）への道路資産の引渡しが増加したことなどにより、1,320 億円（前年同期比 36 億円減）となりました。

□営業費用については、高速道路事業において、機構への道路資産の引渡しが増加したことによる道路資産完成原価の減少などにより、1,256 億円（前年同期比 85 億円減）となりました。

□以上の結果から、営業利益 68 億円（前年同期比 49 億円増）となりました。

□また、経常利益 68 億円（前年同期比 48 億円増）、親会社株主に帰属する中間純利益 37 億円（前年同期比 30 億円増）となっております。

2. 平成 28 年 3 月期の連結業績予想

(単位：億円)

	H28/3 期 見通し (A)	H27/3 期 実績 (B)	対前年増減額・率	
			(A) - (B)	%
営業収益	3,453	5,533	△2,079	△37.6%
高速道路事業	3,246	5,241	△1,994	△38.1%
料金収入	2,550	2,508	41	1.7%
道路資産完成高	696	2,731	△2,036	△74.5%
その他	0	0	△0	△25.9%
関連事業	211	296	△84	△28.5%
駐車場事業	29	28	0	1.9%
受託事業	160	246	△85	△34.7%
その他の事業	21	21	0	1.2%
セグメント間取引消去	△4	△4	△0	-
営業費用	3,431	5,500	△2,068	△37.6%
高速道路事業	3,232	5,218	△1,985	△38.1%
(うち道路資産賃借料)	(1,841)	(1,888)	(△47)	(△2.5%)
関連事業	203	286	△82	△28.9%
駐車場事業	22	21	0	2.3%
受託事業	161	245	△83	△34.1%
その他の事業	19	19	0	1.5%
セグメント間取引消去	△4	△4	△0	-
営業利益	22	32	△10	△32.2%
高速道路事業	14	23	△9	△39.2%
関連事業	8	9	△1	△15.8%
経常利益	22	35	△12	△34.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	8	18	△9	△54.5%

※端数処理の関係で、計が合わないことがあります。

- 営業収益は 3,453 億円、営業利益は 22 億円、経常利益は 22 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 8 億円となる見込みです。
- 料金収入については、2,550 億円と前年同期に比して、41 億円の増収となる見込みです。これは、中央環状線全線開通によるネットワーク整備効果等によるものです。
- 道路資産完成高については、営業中路線の修繕事業等に伴う機構への引渡しを計上しています。
- 関連事業については、国、地方公共団体等の委託に基づく受託事業及び駐車場事業等の売上を計上しています。
- 上記に記載した数値は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性及び今後の事業運営等による変動可能性に照らし、将来における当社の業績と異なる可能性があります。

(参考) 個別業績の概要

(単位：億円)

	H28/3 期 中間期 (A)	H27/3 期 中間期 (B)	対前年増減額・率		H28/3 期 見通し (C)
			(A) - (B)	%	
営業収益	1,382	1,467	△85	△5.8%	3,423
高速道路事業	1,320	1,356	△35	△2.6%	3,246
料金収入	1,279	1,261	18	1.4%	2,550
道路資産完成高	40	94	△53	△57.0%	696
その他の売上高	0	0	0	318.3%	0
関連事業	61	111	△49	△44.6%	177
駐車場事業	5	5	0	1.0%	11
受託事業	54	103	△49	△47.5%	160
その他の事業	1	2	△0	△20.4%	5
営業費用	1,320	1,456	△136	△9.4%	3,408
高速道路事業	1,259	1,346	△86	△6.5%	3,233
道路資産賃借料	920	952	△31	△3.3%	1,841
道路資産完成原価	40	94	△53	△57.0%	696
管理費用	298	299	△1	△0.5%	696
関連事業	60	110	△49	△44.7%	175
駐車場事業	4	4	△0	△2.7%	9
受託事業	54	103	△48	△47.1%	161
その他の事業	1	1	△0	△18.7%	4
営業利益	61	11	50	458.0%	15
高速道路事業	60	9	51	530.8%	13
関連事業	0	1	△0	△37.5%	1
経常利益	65	16	49	300.7%	19
中間純利益	38	7	31	422.7%	8

※端数処理の関係で、計が合わないことがあります。

□上記に記載した数値は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性及び今後の事業運営等による変動可能性に照らし、将来における当社の業績と異なる可能性があります。